

授業科目名	海外語学研修 D	担当教員	傳 建良 小畑 克典
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1・2・3 年 第 4 クォーター		
講義内容	受講者が各々の海外提携校による英語学習コース及び芸術文化や観光に関する対話ワークショップや施設訪問等の中で、実践的に英語を使う機会を得てコミュニケーション力の涵養をめざすと同時に、現地の文化や社会のしくみを理解することを目的とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・海外生活に必要な英語に触れ、使うことができる ・カナダの文化に興味を持ち、生活体験の中でその理解を深めることができる 		
授業計画	<p>4 週間の短期語学プログラムである。</p> <p>研修先は以下の大学である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ University of Victoria (カナダ西海岸ヴィクトリア市 (バンクーバー近郊)) ・ 大学の語学コースでは、言語と文化の両面を学ぶ。語彙やイディオム、発音の修得を含め、英語の 4 技能をバランスよく習得するほか、ホームステイ等を通じ現地の人々との実際の触れ合いの中で、英語文化圏の人々の文化や社会生活を学ぶ。 <p>※大学側がホームステイ先を責任をもってアレンジしてくれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化や観光のワークショップや視察を通じて英語と文化の両面を学ぶ。 ・ 研修前には、海外渡航や現地での生活についてのガイダンスを受けること、また研修後には、研修の成果をまとめた公開プレゼンテーションの実施が求められる。 		
事前・事後学習	派遣前ガイダンスで指示する		
テキスト	ヴィクトリア大学から提示される		
参考文献	同上		
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣前ガイダンス等での事前準備 (10%) 現地語学コース授業への参加度 ・ 課題達成度 (60%) 派遣後レポート (30%) ・ 海外語学研修の評価は、合格又は不合格で表す。 		
履修上の注意 履修要件	研修前ガイダンスから、研修後プレゼンテーションまでをやり抜く意欲と海外での共同生活を送る協調性や柔軟性があること		

備考欄	<p>① 国際交流センターが定める書類の提出、海外渡航安全研修の受講、および指定保険への加入などが必須である。</p> <p>② 基金補助制度を利用する受講者には、以下を課す。</p> <p>事前・事後学習： 指定 e ラーニングコースの受講及び研修後の語学資格試験の受験</p> <p>研修後： 原則として公開プレゼンテーションへの参加・発表を義務付ける。</p>
-----	---